



47名の心ひとつにJr. バンドフェスティバル



11月21日(金)キャラホールにおいて盛岡市ジュニアバンドフェスティバルが開催されました。当日は、多くの保護者の方にお越しいただきありがとうございました。また、インフルエンザの流行や熊の出没により落ち着いて練習をすることが難しかったのですが、保護者の皆様のご理解とご協力、ご支援により子供たちも本舞台に立ち、演奏することができました。心より感謝申し上げます。

盛岡市内の学校において吹奏楽クラブや金管バンドクラブとして活動している学校は10校ほどあります。(以前はもっと多かったのですが児童の減少とともに取り組んでいる学校は減少傾向にあります)本宮小学校は、熱心に活動に取り組んでいる学校の1つとして今年度も多くの仲間の前で演奏を披露することができました。

演奏した曲は「はなみずき」と「Mela」の2曲です。今年度コツコツ取り組んできた練習の成果をホールいっぱいに響かせることができました。もっと演奏を聞いていたいな～そんな気持ちにさせてくれたひとときでした。6年生は今までの活動の集大成となった本ステージ。今までよく練習を続けてきましたね。素敵な演奏ありがとう。噂によると年明けには、お家のかた向けの発表会をするとか・・・しないとか・・・今から楽しみです。

宝積桜～10月の花ことば～



- ❀ あいさつ運動、頑張っていますね。『ただただ大きな声を出す』あいさつではなく、相手を思いやって『届ける』あいさつをしているのが、とても素敵です。
- ❀ 黒田あやねさん、中村あかりさん 教室の隅、机や台の下を丁寧に雑巾できれいにします。藤村ゆうとさん、佐々木むぎさん、結城しゅうへいさん 拭き残しの無いように廊下を直角に拭き、床を全部磨きます。ありがとう。
- ❀ 朝から廊下を黙々と清掃する6年生さん。1年生が行き届かない細かいところまで丁寧にきれいにしています。そして、爽やかに「おはようございます」とあいさつしてくれます。「清掃」と「進んであいさつ」2つの宝積をしている姿。本小のお手本です。

※まだまだ素敵な花ことばが咲いています。来校の折にご覧下さい。

熊騒動・インフルエンザ

原敬記念館の塀によじ登ったクマ。麻酔で捕獲された。20日午後1時44分、盛岡市本宮



10月21日付岩手日報の記事より抜粋

10月20日(月)原敬記念館に籠城した熊騒動により急遽実施した子供たちの引き渡し。11月18日(火)本宮小付近に現れた熊により、一気に緊張感が高まった早朝。子供の安全を第一に急遽行った臨時休校。

また、この時期としては異例のインフルエンザ大流行。インフルエンザ拡大阻止に向けて行った学年閉鎖、学級閉鎖。

ここ10月・11月中は、この2つの出来事によって子供たちもお家の方もそして本校職員も翻弄されながら過ごした2ヶ月間でした。

ですが、このような状況下であっても、お家の方のご理解とご協力、そして子供たちへの励ましの言葉をいただきながらなんとか凌ぐことができています。

2学期もいよいよ佳境です。まだまだ予断を許さない状況にあることから子供たちの安全・安心を第一に教育活動を進めてまいります。よろしくお願い致します。

本小の子供たちは原敬先生のことを「はらさん」とか「はらたかしさん」と親しみと敬意をもって呼びます。その原さんの生家がある原敬記念館は子供たちの大切な学びの場になっています。生活科や総合的な学習の時間等においても子供たちの学びにつながる宝がそこにはあります。そんな大切な場に感謝の気持ちを込めて、高学年は清掃活動に出向きます。子供たちにとって大切な「宝積活動」の1つになっています。

そんな大切な場が、今ピンチな状況にあります。生家の茅葺き屋根の老朽化に伴い雨漏りに見舞われています。聞くとところによると総葺き替えに2700万円近くかかるとのこと。その知らせを受けて、本校同窓会も思案した結果、協賛金から10万円を寄付することにし、過日藤村幸雄同窓会長が届けてきました。皆さんからの善意が集まり、この度の問題が無事解決することを願わずにいられません。

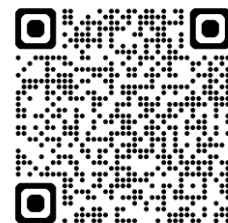
※盛岡市では、本件に係るクラウドファンディング(目標額700万円)を行っているようです。一度ご覧ください。



みんなで大切にしている 私たちの「原敬記念館」



11月8日付岩手日報の記事より抜粋



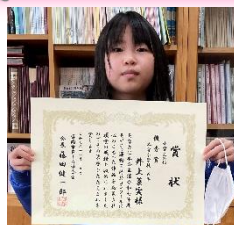
原生家を守りたい クラウドファンディング

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/4396>

受賞おめでとう



交通安全ポスターコンクール
優秀賞 岡村碧さんと珀さん



あいさつ運動三行詩コンクール
優秀賞 井上菜実さん



こんなトラックあったらいい絵画コンクール
優秀賞 秋山真来奈さん
努力賞 秋山留々琶さん